エコアクション２１

環境活動レポート

63期臨時版 （期間： 2010年4月～2010年6月）

《目次》

・環境方針 p. 1

・組織の概要、対象範囲 p. 2

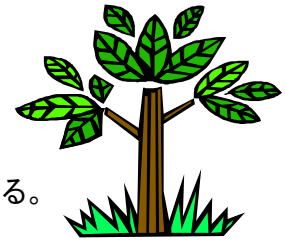
・環境目標及びその実績 p. 3-8

・環境活動計画と取組結果とその評価 p. 9
・次年度の取組内容
・環境関連法規等の遵守状況の確認及び
・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
・代表者による全体の評価と見直しの結果

・環境管理組織 p. 10

この木について

樹木名：クリップアート
樹齢：3ヶ月
生育地：環境レポート表紙
特徴：環境活動と共に、成長する。



日本資材株式会社

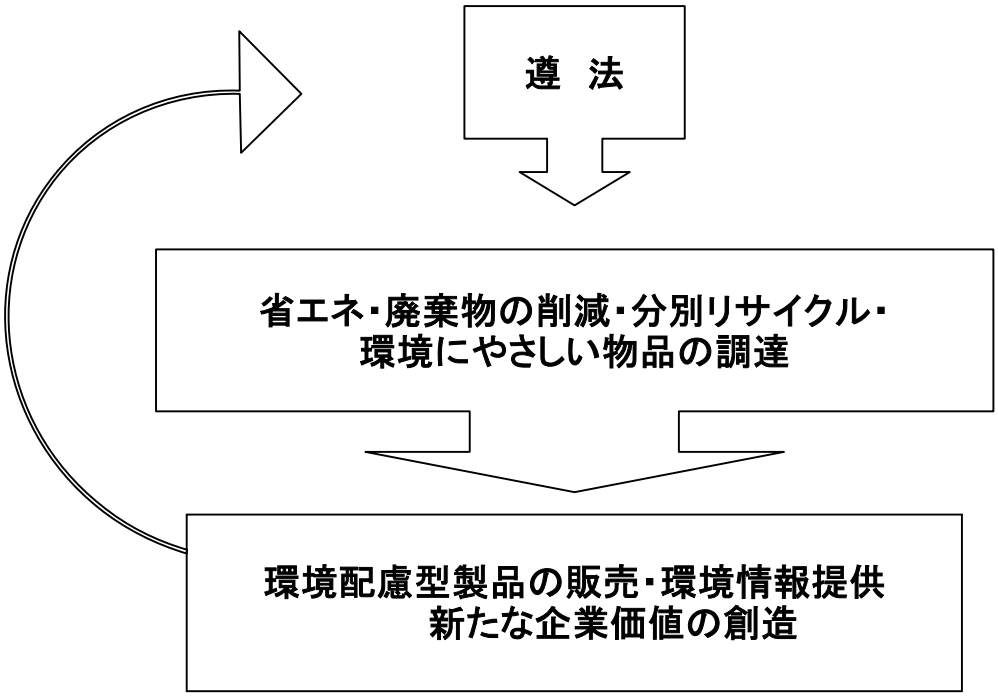
作成： 2010年8月1日

環　境　方　針

持続可能な社会を構築に向けて、事業者が担う責任として、環境負荷の継続的な削減へ取組み、環境経営を推進します。事業所内での省エネ、廃棄物の削減、分別リサイクル等だけでなく、仕入から販売まで（川上から川下まで）の原料・商品の流れの中で、取組むべき課題を問い、目標を定めて、全組織・全事業活動での環境負荷の削減を目指します。

基本方針は明快にして、着実に目標を達成致します。

一．先ず、環境に悪いことをしない。（環境に関する法規等の遵守）
二．次に、環境に良いことをする。（省エネ・廃棄物の削減・分別リサイクル・環境にやさしい物品の調達）
三．更に、環境配慮型製品の販売・環境情報提供を推進して、新たな企業価値の創造を目指します。



制定日：2010年3月16日

日本資材株式会社　取締役社長　高野繁正

□ 組織の概要

1）**名称及び代表者名**

日本資材株式会社
代表取締役社長　高野　繁正

2）**所在地**

本社	大阪府大阪市中央区博労町1丁目5番6号
東京店	東京都中央区日本橋箱崎町31-4
京都店	京都府南区上鳥羽岩ノ本町10
名古屋店	愛知県名古屋市西区幅下2-18-12
福井店	福井県福井市問屋町3-209
福山店	広島県福山市道三町3-7
見附店	新潟県見附市新町3-11-11
R&Dｾﾝﾀｰ	滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923－2

3）**環境管理責任者氏名及び担当者連絡先**

責任者	取締役統括部長	寺尾　周二	TEL : 06-6264-0222
担当者	管理本部課長	本山　幸一	TEL : 06-6264-0222

4）**事業内容**

販売代理店として、化学工業薬品, 紙・合成紙・フィルム, 染色設備・機械、
各種消耗品等、産業資材全般を様々なメーカーに供給しています。
また、関連会社の㈱ダイニチで開発製造された, 電子材料, ラミネート加工品
及び機能性フィルムの販売を行っています。

5）**事業規模**

売上高　本社　4,775百万円（全社 14,051百万円）[2009年度実績]

	本社
従業員	36
延べ床面積（㎡）	1,581

R&Dｾﾝﾀｰ
9
2,100

（R&Dセンターは2008年度に認証取得済）

東京店	京都店	名古屋店	福井店	福山店	見附店	合　計
13	4	2	10	1	1	76名
196	237	99	794	73	231	5,311㎡

6）事業年度　　7月～6月

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:　日本資材株式会社　本社

対象外:　各営業拠点　（東京、京都、名古屋、福井、福山、見附）
2012年度に拡大予定

活動:産業資材全般, 電子材料, ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売

作成日：2010年9月30日

承　認	作　成
○	○

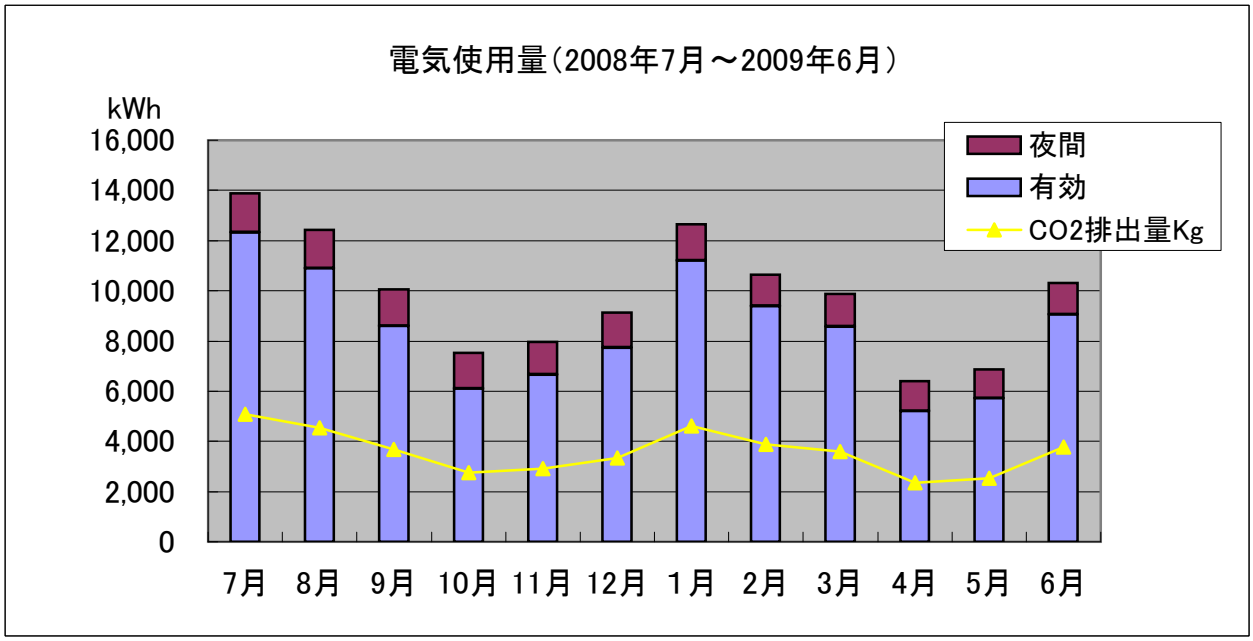
□環境目標及びその実績

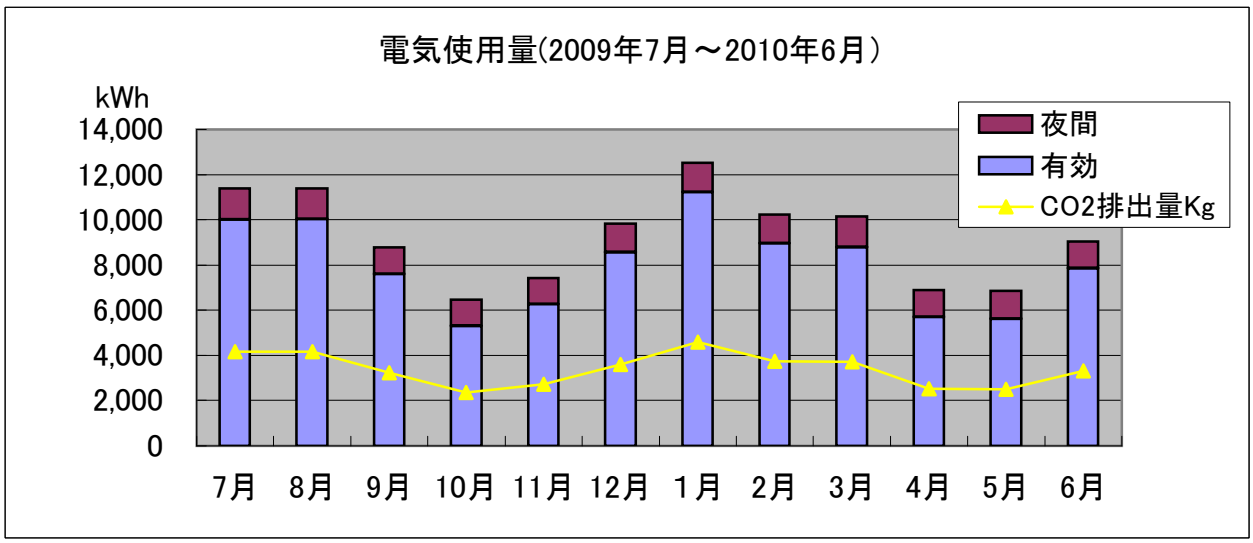
項　目		年　度	2008年	2009年 上段：通年 下段：10年4月～6月		評価	2010年	2011年
			（基準年度）	（目標）	**（実績）**	X△○	（目標）	（目標）
電力量使用あたりのCO2排出量	kg-CO2	本社	43,097	39,649	**40,613**	△	38,787	37,925
			8,637	7,946	**8,334**	△	（△10%）	（△12%）
自動車燃料使用量あたりのCO2排出量	kg-CO2	本社	27,422	26,050	**28,878**	X	25,228	24,679
			6,453	6,130	**7,369**	X	（△8%）	（△10%）
CO2排出量合計	（Kg/年）	本社	70,519	65,699	**69,491**	△	64,015	62,604
			15,090	14,076	**15,703**	X	（△9%）	（△11%）
一般廃棄物（中間ﾘｻｲｸﾙ含み）	（Kg/年）	本社		数値化開始		○		
					498	△		
産業廃棄物（マニュフェスト）	（Kg/年）	本社		数値化開始		○		
					0	○		
廃棄物排出量合計	（Kg/年）	本社		数値化開始		○		
					498	○		
生活用水使用量の削減	（m3/年）	本社	447	438	**305**	○	438	438
			75	73	**74**	△	（目標見直）	（目標見直）
化学品の販売量（数量の把握）	（Kg/年）	本社				X		
			207,180		****	X		
社内グリーン購入の（ｵﾌｨｽ用品含み）向上	（品目数/年）	本社						
					0	△		
コピー用紙使用量の削減	（Kg/年）	本社						
					283	△		

※各項目の6月までの目標値は（通年の目標値/12ヶ月÷4）で算出
※（△　%は年間目標削減率）
※化学品販売量はPRTR対象物質含有の繊維加工剤製品の数量。

（図表1）電気使用量

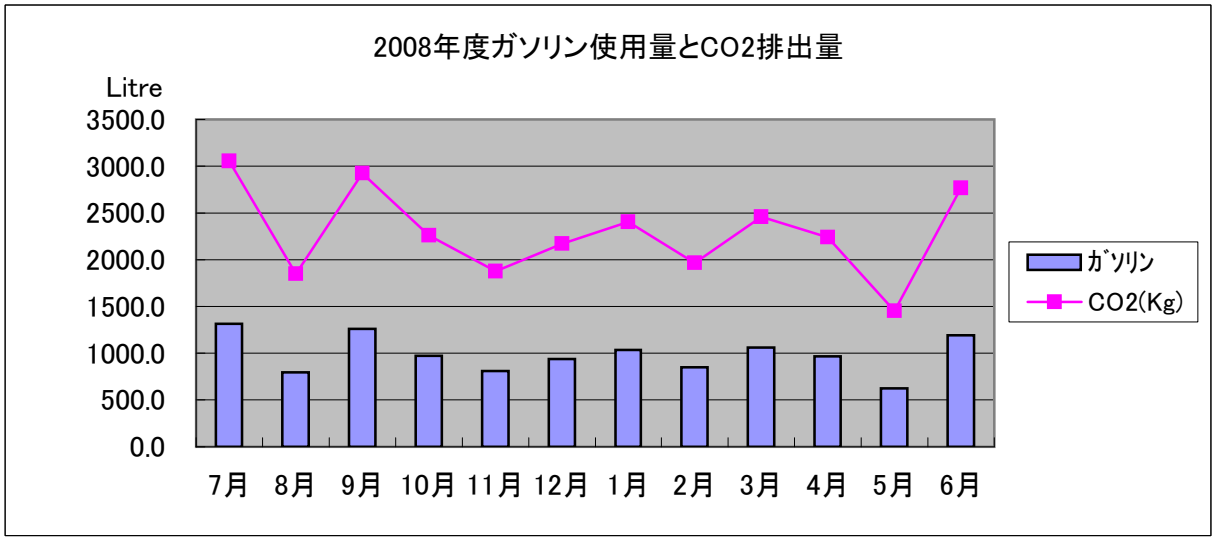
	2008年7月～2009年6月				2009年7月～2010年6月			
	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)
7月	13,871	12,333	1,538	5,077	11,386	10,005	1,381	4,167
8月	12,432	10,891	1,541	4,550	11,385	10,038	1,347	4,167
9月	10,047	8,593	1,454	3,677	8,789	7,582	1,207	3,217
10月	7,538	6,103	1,435	2,759	6,465	5,292	1,173	2,366
11月	7,972	6,661	1,311	2,918	7,426	6,249	1,177	2,718
12月	9,145	7,741	1,404	3,347	9,820	8,562	1,258	3,594
1月	12,651	11,207	1,444	4,630	12,539	11,211	1,328	4,589
2月	10,631	9,396	1,235	3,891	10,231	8,960	1,271	3,745
3月	9,864	8,574	1,290	3,610	10,153	8,798	1,355	3,716
4月	6,409	5,206	1,203	2,346	6,877	5,697	1,180	2,517
5月	6,869	5,706	1,163	2,514	6,847	5,617	1,230	2,506
6月	10,321	9,056	1,265	3,777	9,047	7,861	1,186	3,311
合計	117,750	101,467	16,283	43,097	110,965	95,872	15,093	40,613

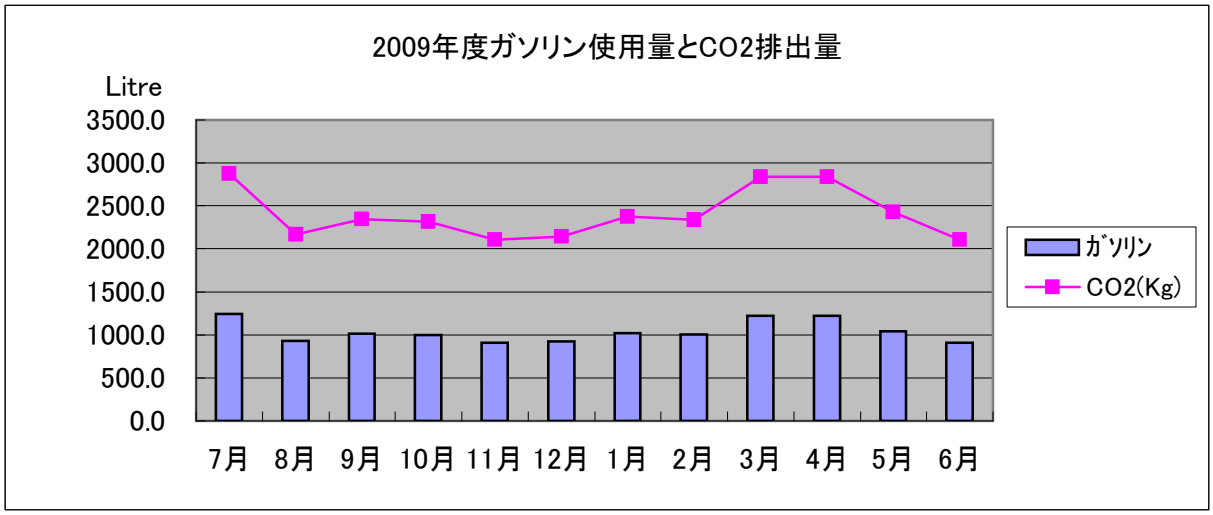




(図表2)ガソリン使用量　　排出係数　2.32

2008年7月～2009年6月					2009年7月～2010年6月			
	スタンドA	スタンドB	Litre	排出量Kg	スタンドA	スタンドB	Litre	排出量Kg
7月	1032.8	284.9	1317.7	3057.064	780.0	460.1	1240.1	2877.032
8月	699.6	98.0	797.6	1850.432	651.6	282.5	934.1	2167.112
9月	1011.5	250.6	1262.1	2928.072	773.3	236.9	1010.2	2343.664
10月	645.5	328.2	973.7	2258.984	639.9	359.9	999.8	2319.536
11月	621.0	187.3	808.3	1875.256	658.3	251.3	909.6	2110.272
12月	738.7	198.4	937.1	2174.072	742.6	181.3	923.9	2143.448
1月	773.3	262.2	1035.5	2402.36	837.4	185.6	1023.0	2373.36
2月	655.5	191.4	846.9	1964.808	703.2	304.0	1007.2	2336.797
3月	704.2	355.5	1059.7	2458.411	901.1	322.4	1223.5	2838.45
4月	765.1	200.3	965.4	2239.728	922.0	300.5	1222.5	2836.293
5月	435.6	189.1	624.7	1449.304	695.9	350.3	1046.2	2427.138
6月	971.2	220.1	1191.3	2763.816	632.9	274.6	907.5	2105.377
合計	9054.0	2766.0	11820.0	27422.31	8938.2	3509.4	12447.6	28878.48





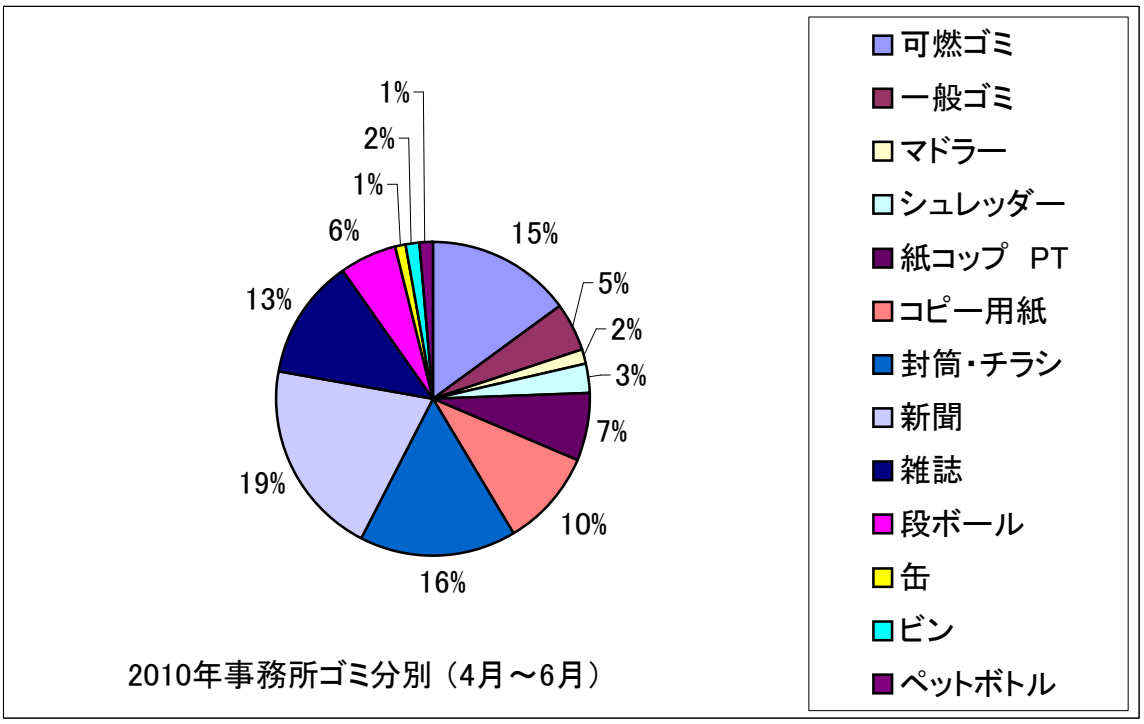
（図表3）2010年事務所ゴミ分別 （（4月～6月）

	4月	5月	6月	合計
可燃ゴミ	17,200	12,600	45,000	74,800
一般ゴミ	7,600	3,700	13,400	24,700
マドラー	0	0	7,700	7,700
シュレッダー	6,000	0	8,000	14,000
紙コップ　PT	5,700	11,400	18,200	35,300
コピー用紙	12,900	10,000	26,400	49,300
封筒・チラシ	16,400	29,100	35,500	81,000
新聞	0	58,000	42,000	100,000
雑誌	0	40,000	22,500	62,500
段ボール	0	12,000	17,500	29,500
缶	3,000	0	2,500	5,500
ビン	4,000	0	3,500	7,500
ペットボトル	1,500	1,600	3,300	6,400

中間リサイクル

合計（単位g）	74,300	178,400	245,500	498,200

中間リサイクル（g）	49,500	162,100	179,400	391,000
リサイクル率(%)	67%	91%	73%	78%



※事務系一般廃棄物について、約78%が資源ゴミとして、中間リサイクルができました。

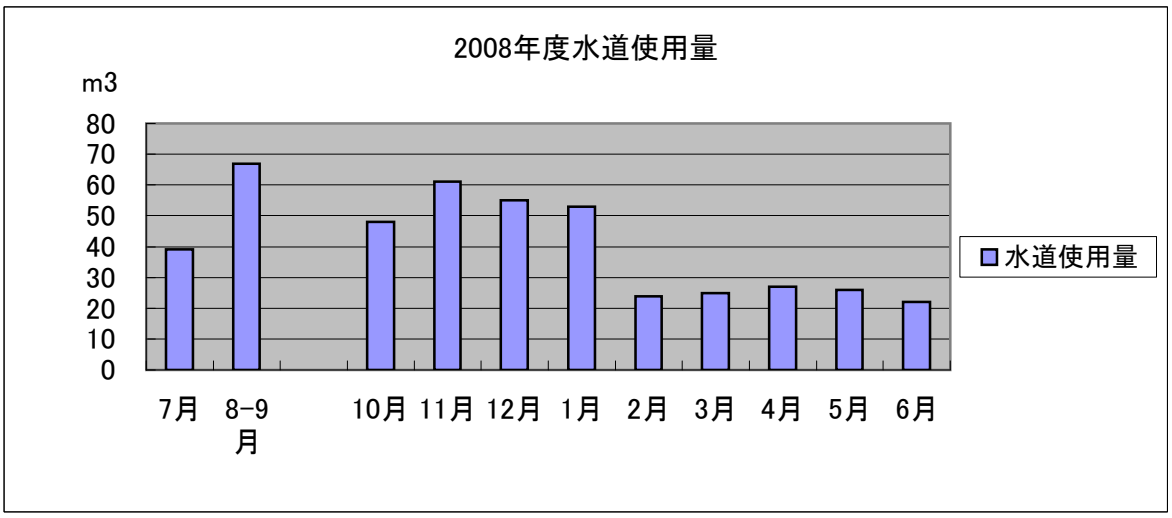
（図表4）水道使用量

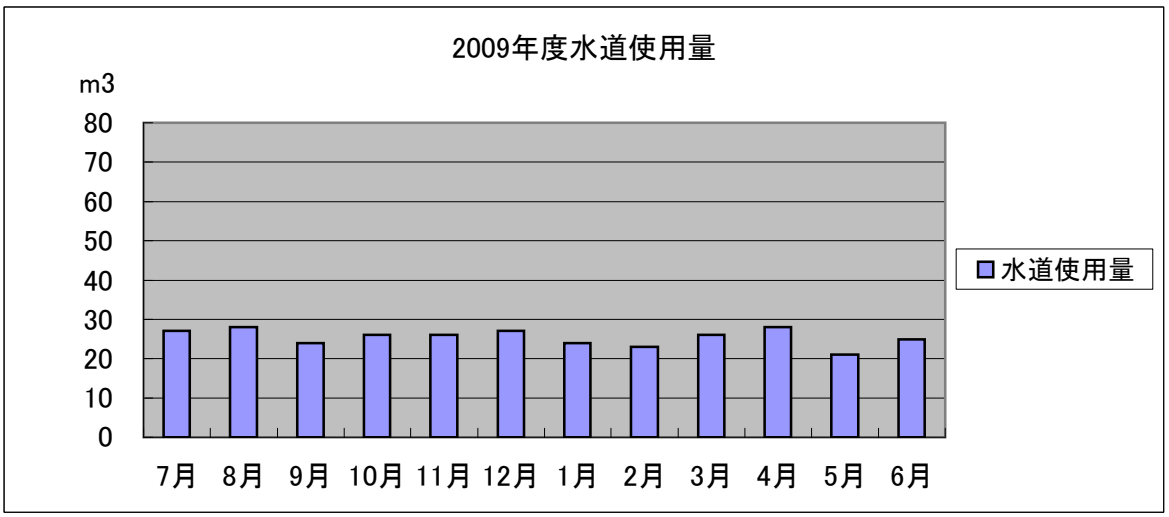
2008年7月～2009年6月

	m³
7月	39
8-9月	67
10月	48
11月	61
12月	55
1月	53
2月	24
3月	25
4月	27
5月	26
6月	22
合計	447

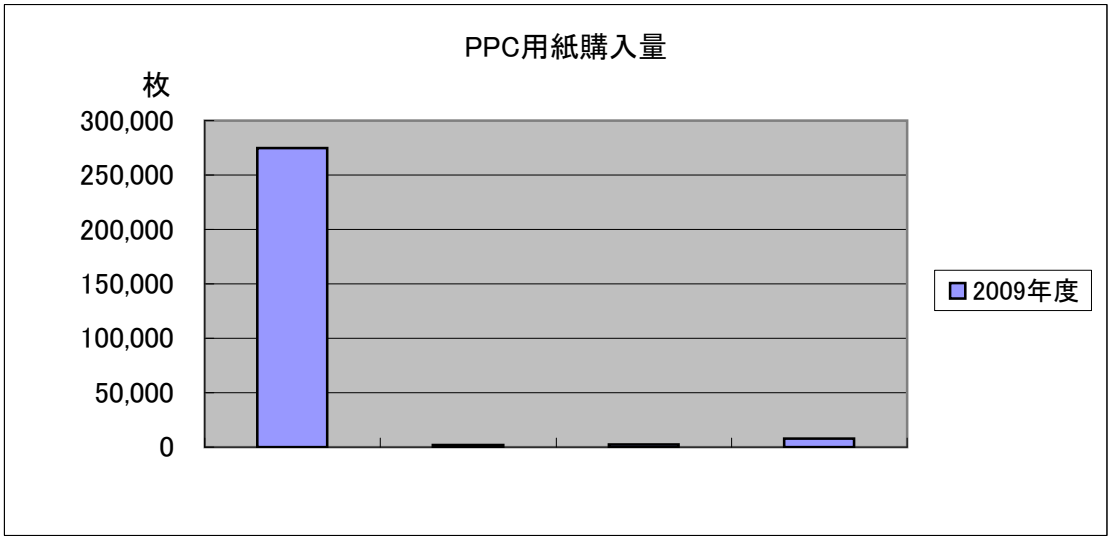
2009年7月～2010年6月

	m³
7月	27
8月	28
9月	24
10月	26
11月	26
12月	27
1月	24
2月	23
3月	26
4月	28
5月	21
6月	25
合計	305



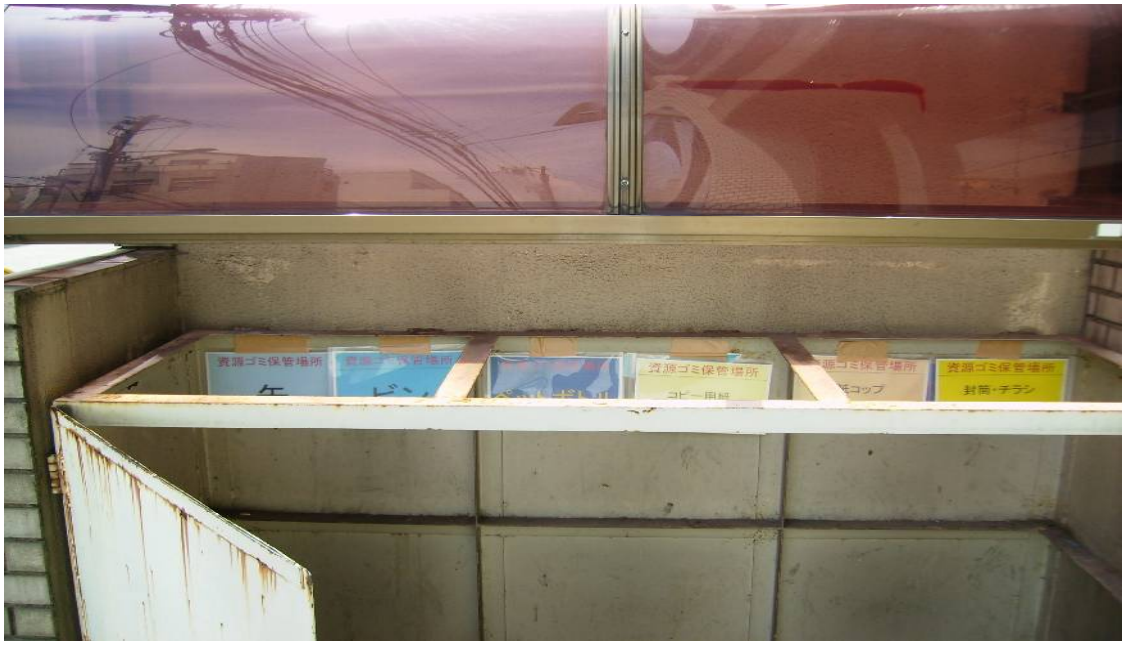


（図表５）



	A4	A3	B4	B5	合計
使用枚数	275,000	1,500	2,500	7,500	286,500
使用量(Kg)	1,166	13	16	24	1,219

資源ゴミ置場（毎週水曜日）　（写真１）



2009年度 （2010年4月～6月）

環境管理計画

作　成	2010年3月23日
改　訂	

環境方針	環境目的及び実施項目	スケジュール 2010年6月 / 2010年度
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規点検 1 廃棄物処理 2 家電リサイクル法 3 化管法(MSDS制度) 4 消防法 5 毒物劇物取締法 6 化審法	→
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄 物量の削減》	(1)一般廃棄物から資源ゴミ分別の徹底 （マニュアル作成） (2)缶・ペットボトルの中間リサイクル (3)紙類のリサイクル （新聞・雑誌、カートンの資源ゴミ化） (4)ミスコピーの防止マニュアル作成 (5)社内使用コピーの両面コピー利用など コピー紙の削減の数値化 (6)化学物質販売量の計量化（計画） （PRTR法対象物質） (7)事務所内節電の見直し ①照明器具の適正管理 ②空調の適温化、フィルターの清掃 (8)社内グリーン購入の品目の検討	→ 100% → - - - - - → 50% → → → → 8%減 → - - - - - → →
3. 環境配慮型製品の販売・ 環境情報提供	(1)取扱い商品の分析 (2)重点分野の計画化	→

※空調フィルターの清掃は、お盆休み前にする予定。
※エコ21活動としての社内グリーン購入の1品目は、社員名刺の再生紙への変更検討中。
※化学物質販売量の計量化は、繊維加工剤は数値化。

□ 環境活動計画と取組結果とその評価

事業活動に伴う環境への負荷を《見える化》することにしました。

○ 電気使用量（図表1）、営業車ガソリン使用量（図表2）、水道使用量（図表4）、そして、事業系ごみについては、社内分別（図表3）を見直し、資源ごみ（リサイクル）を毎週水曜日に一括して収集業者へ委託することになりました。（写真1）

電気使用量	基準年（2008年）に対して、5.7%減になりました。2011年度10%減へこの夏場のエアコン使用方法を工夫します。
ガソリン使用量	基準年（2008年）に対して、5%増です。エコドライブの再確認をします。
水道使用量	基準年（2008年）に対して、46%減（大幅減の原因が不明です。）
コピー用紙使用量	4月より使用量の数値化開始。2009年7月～2010年6月（2009年度）の用紙購入量を基準に削減へ取組み。（図表5）

△ 商社として、取扱い商品の化学物質（PRTR対象物質含有）のデータを収集することは、課題です。先ず、データが揃っている繊維加工剤について、データをまとめました。

□ 次年度の取組内容

⇒環境関連法規の基本的な管理について、再点検。
⇒取扱い化学物質のデータ収集。
⇒管理マニュアルの整備。（マニュアル＝社内ルールとして守れるようにする。）
⇒社内グリーン購入。

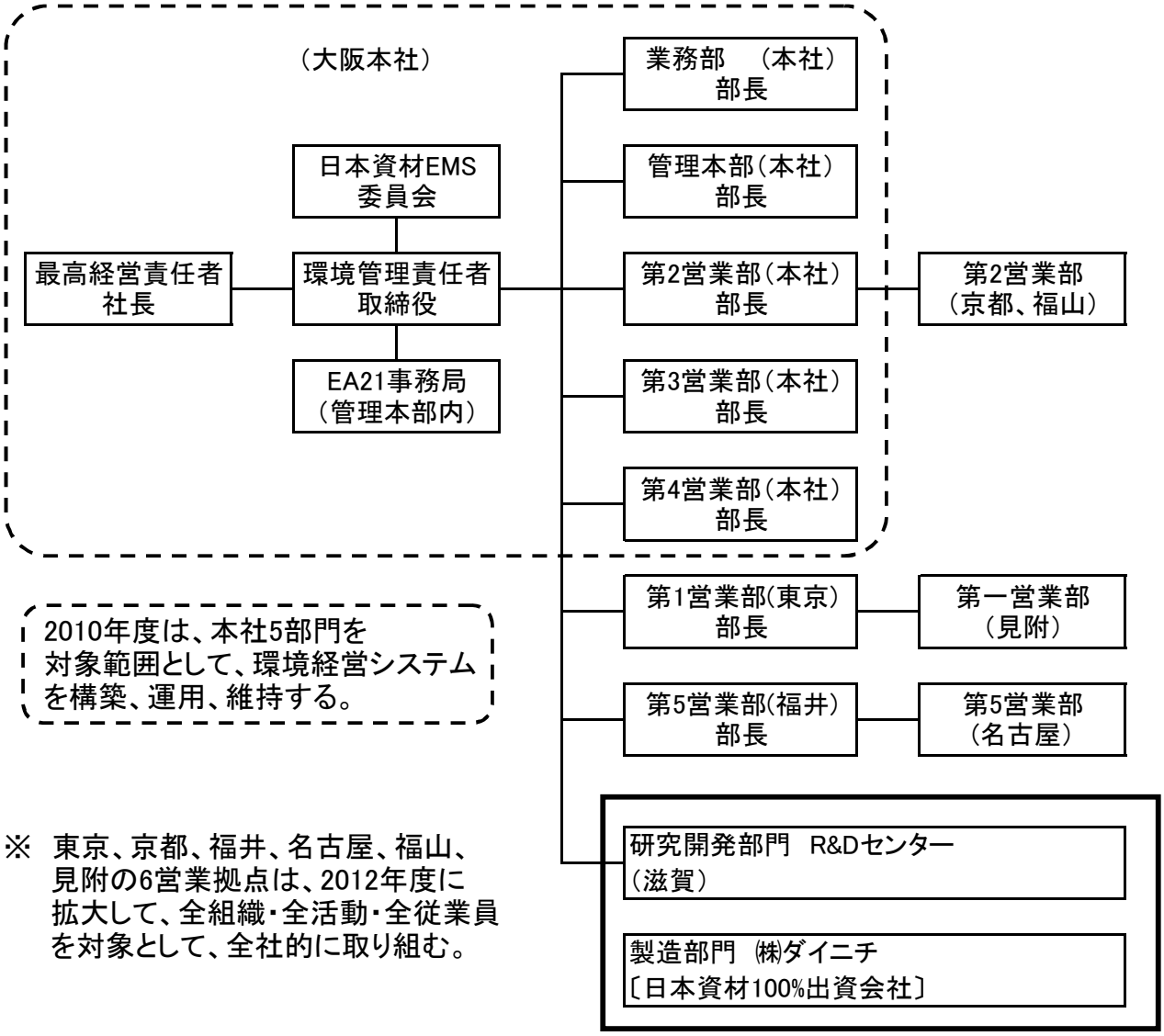
□ 環境関連法規等の尊守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無。

○ 環境関連法規等の違反、訴訟等はありません。
△ 環境関連法規の登録・点検簿を作成して、基本的な管理の見直しを始めました。

□ 代表者による全体評価と見直し結果（総括）

営業活動と共に、環境活動についても、全社員が積極的な取組みをすること。

日本資材株式会社　環境管理組織



※　東京、京都、福井、名古屋、福山、
見附の6営業拠点は、2012年度に
拡大して、全組織・全活動・全従業員
を対象として、全社的に取り組む。

注：研究部門であるR＆Dセンターは、㈱ダイニチの
敷地内にあり、㈱ダイニチと共に環境活動に
取り組んでいます。**[EA21認証・登録済]**

環境活動レポート　　（63期臨時版）

発行　　2010年8月1日

日本資材株式会社　EA21事務局

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-5-6
電話：06-6264-0222　fax：06-6264-0115
http://www.nippon-shizai.com
email: kmotoyama@nippon-shizai.com